

ロゼッタネットジャパン 部品技術情報流通Working Group の活動

2011年02月25日

部品技術情報流通WG 主査
村田貴昭(ソニー)



ロゼッタネットジャパン(RNJ)とWGについて

■ ロゼッタネットジャパン(Rosetta Net Japan: RNJ)とは

サプライチェーン構築に関する規約の標準化・普及を推進するロゼッタネットの日本における唯一の提携団体であり、世界各地に設立されているロゼッタネット関連組織と協力し、日本の立場からグローバルな標準の確立に寄与するとともに、ロゼッタネット活動に参画する全ての企業・団体・政府・政府関連機関と協働しグローバルなサプライチェーン構築を実現する機会を提供する非営利団体です。部品技術情報流通WGを主催しています。

■ 部品技術情報流通WGの目的

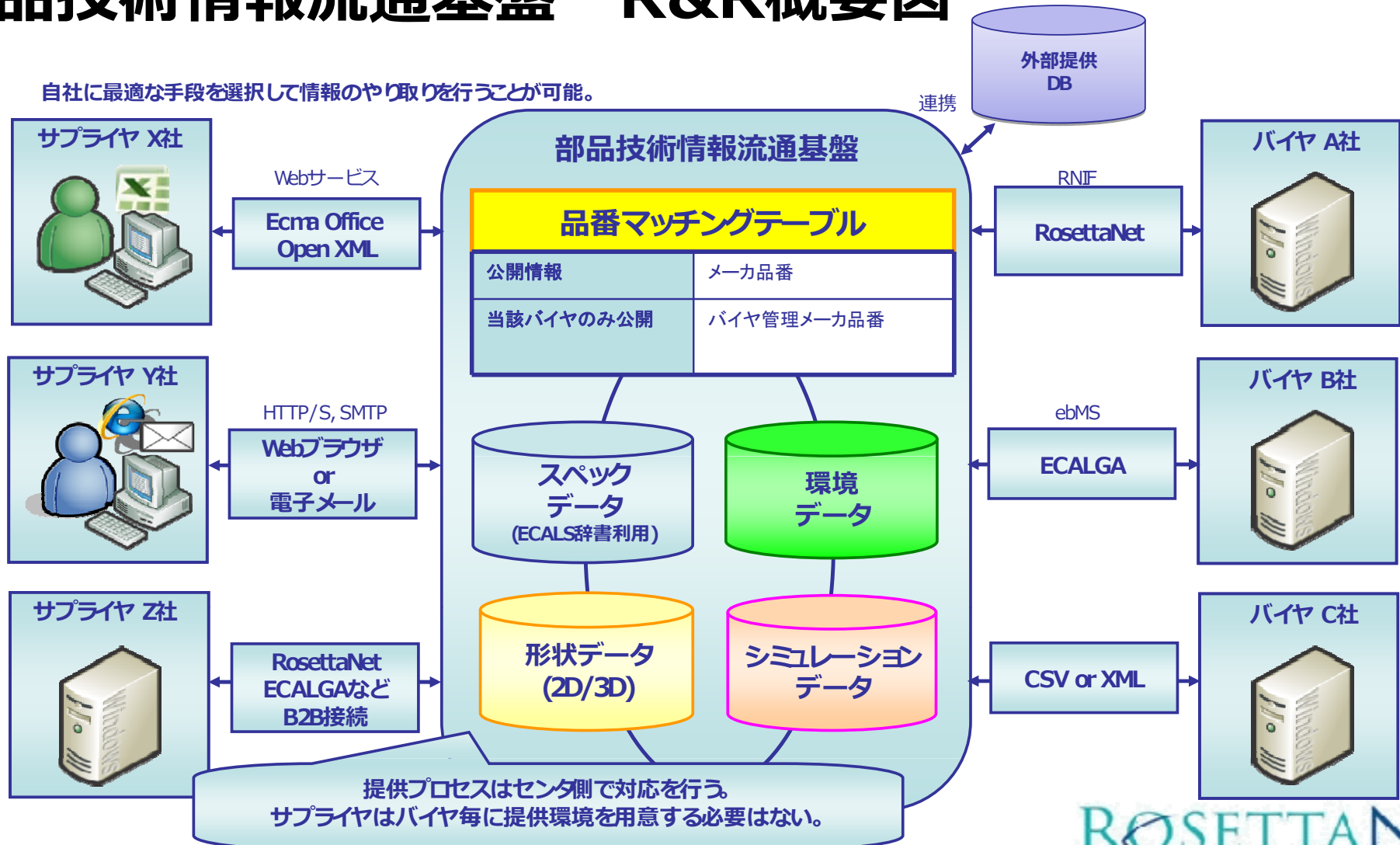
中小企業を含む企業間における部品技術情報の流通・再利用を行うことが可能な仕様の標準化を検討するWGです。サービスプロバイダにより構築・提供されるR&Rセンタを利用し、バイヤ及びサプライヤの業務プロセスを最適化・効率化することを目指します。



R&R構想

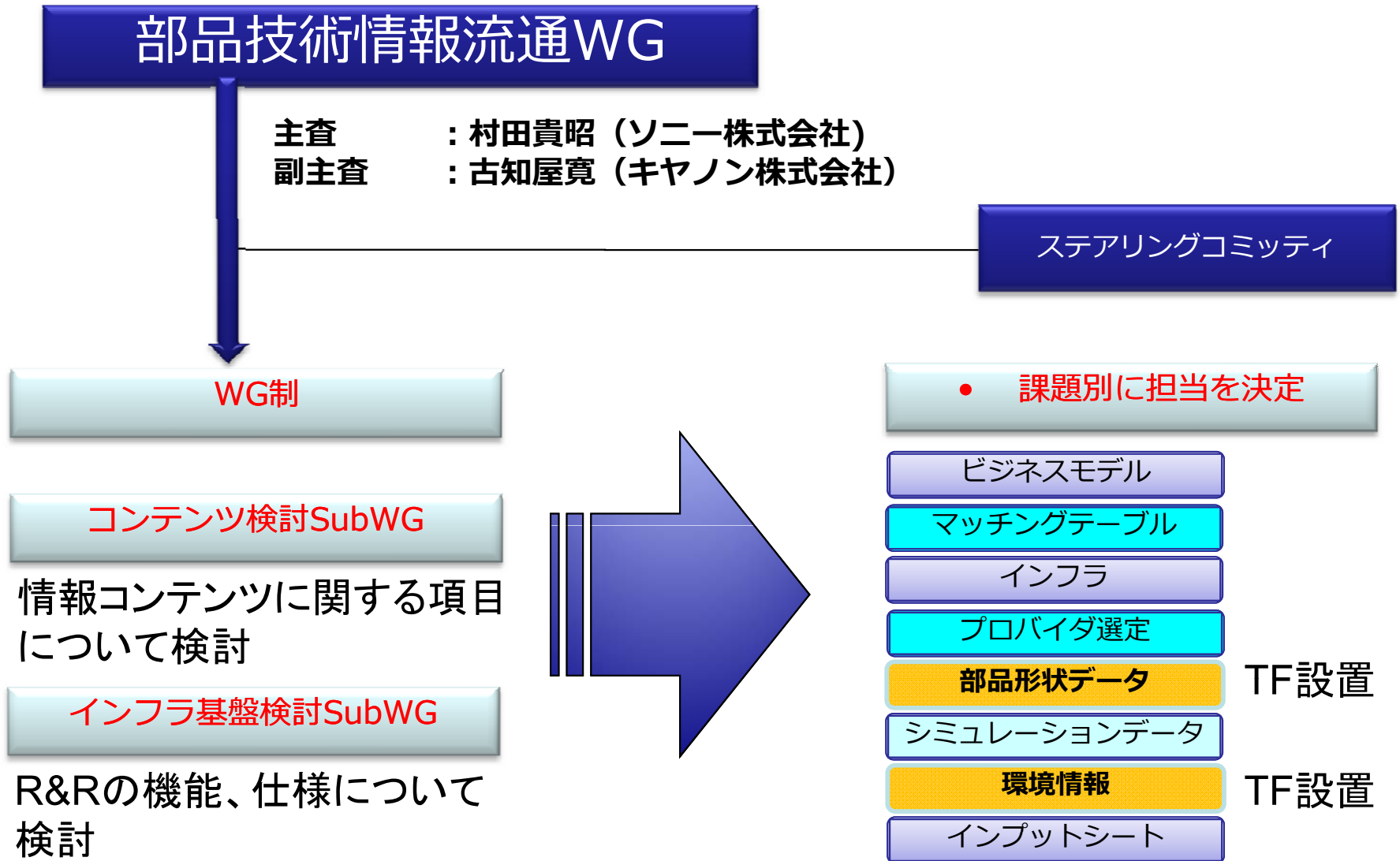
(R&R = Registry & Repository)

部品技術情報流通基盤 R&R概要図





WGの体制





2011年度 WG活動計画(案)

RISE (R&R)稼働からPhase2,3への具体的な課題の解決に当たる。

●形状データ→現状TFの継続 :

R&Rにおける形状データの機能とその実現→ガイドラインの作成検討。
図研 eParts-finderとの連携。

●環境データ→現状TFの継続 :

環境一次情報(RoHS)と詳細情報表示(Reach)機能の実現
BOM-Checkとの連携要件のまとめ。

●Phase2、Phase3の実現 :

台湾、中国、韓国の状況把握、データプール連携の要件定義。
要件定義書の更新。
B2Bインフラの要件定義と提供費用の具体化

●マッチングテーブル機能 :

部品情報の管理が異なる他部門との部品情報共有機能の検討
EMS企業への参加要請と情報交換機能の要件定義。

●参加企業の拡大 :

PR及び使い方指導、協力要請。



JEITA 社団法人電子情報技術産業協会
 会員:440社
 ECセンター B2Bビジネスプロセスの電子化
 と標準化をグローバルに推進
 ECALS辞書の管理

サプライヤー様

バイヤー企業協議会から主要取引先としてRISE(R&R)説明会に出席を要請されたサプライヤー様
 (現在、約100社)

部品設計
 カタログ化
 納入仕様書化
 環境データ提出
 DISCON申請

などの情報取り扱いにグローバルなサプライチェーン構築を業務効率の改善が実現する機会を提供する非営利団体

RosettaNet Japan

サプライチェーン構築に関する規約の標準化・普及を推進する。
 部品技術情報流通WGを主催

部品形状:Panasonic・JST・NEC・図研・ソニー・キヤノン
 環境情報:ソニー・キヤノン・オリンパス

標準化された部品技術情報を要求

RISE(R&R)

R&Rシステム運用
 豊通エレクトロニクス

共通化された部品技術情報を提供

バイヤー企業協議会

部品技術情報の共通化と流通の効率改善を目指した有志団体

参加企業:キヤノン

ソニー
 東芝
 三菱
 NEC
 OKI
 オリンパス
 パナソニック
 スミロニクス
 コンテックEMS
 日本無線



標準化された部品技術情報を要求

**③ サプライヤー企業の
の質問・要望・期待**

KOA
太陽誘電
東芝

パネルディスカッション

RISE (R&R)

豊通エレクトロニクス
(ELISNET事業室)

② 機能紹介とデモ

共通化された部品技術情報を提供

**① バイヤー企業が
が実現したいこと**

ソニー
キヤノン
日本電気

事例紹介



長時間のセミナーとなりますが、最後までお付き合いください。